

Ⅲ. 調査結果

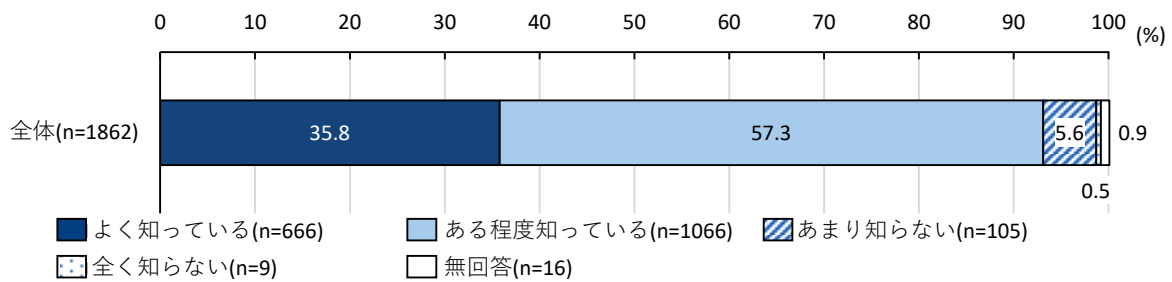
1 食品ロスへの関心について

1. 1 あなたは、食品ロス（食品廃棄物）が問題となっていることを知っていますか。（1つだけに○）

【全体】

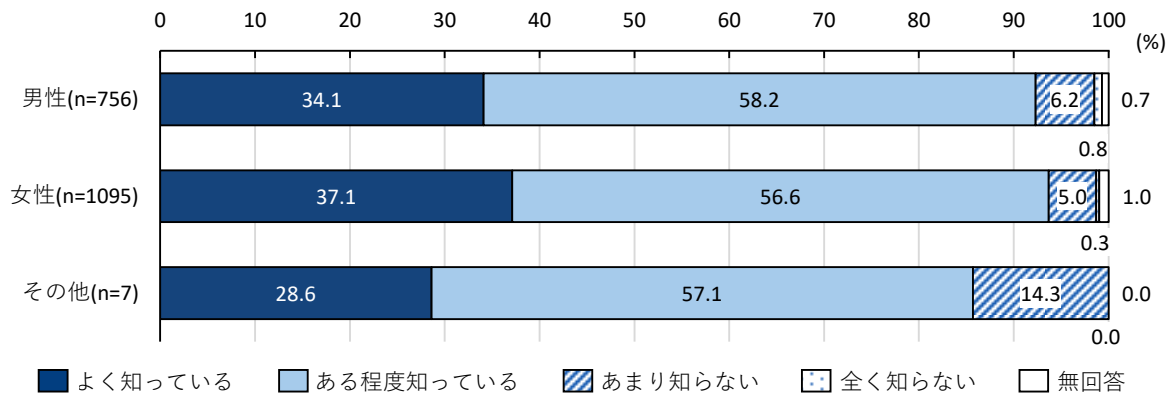
「ある程度知っている」の割合が57.3%で最も高く、次いで「よく知っている」(35.8%)、「あまり知らない」(5.6%)などの順で続いている。

また、「よく知っている」と「ある程度知っている」を合わせた割合（以下『知っている』）は93.1%、「あまり知らない」と「全く知らない」を合わせた割合（以下『知らない』）は6.1%であり、回答者の9割が食品ロス（食品廃棄物）が問題となっていることを認知している。



【性別】

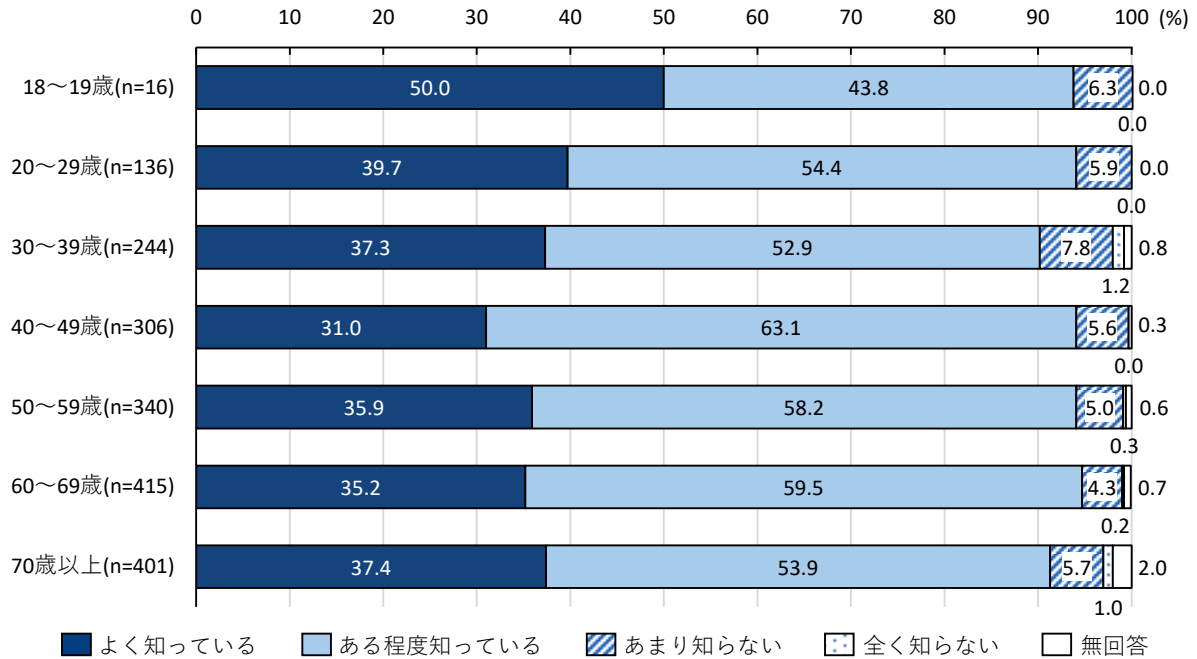
性別にみると、『知っている』の割合は、男女ともに9割を占めており、性別による大きな差はみられない。



【年齢別】

年齢別にみると、いずれの年齢においても『知っている』の割合が9割を占めており、『知らない』の割合を上回っている。

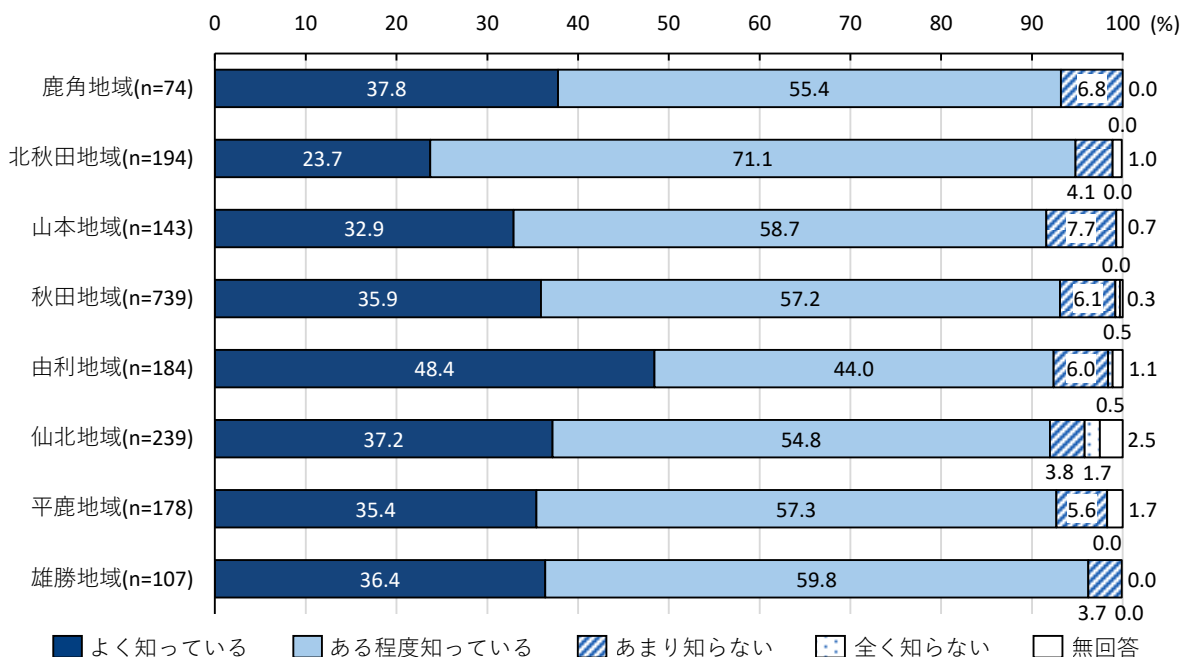
「よく知っている」の割合は、18～19歳では5割台であり比較的高い一方、20歳以上ではいずれも3割台となっている。



【地域別】

地域別にみると、いずれの地域においても『知っている』の割合が9割を占めており、『知らない』の割合を上回っている。

「よく知っている」の割合は、由利地域が4割台で最も高く、北秋田地域が2割台で最も低くなっている。他6地域では3割台となっている。

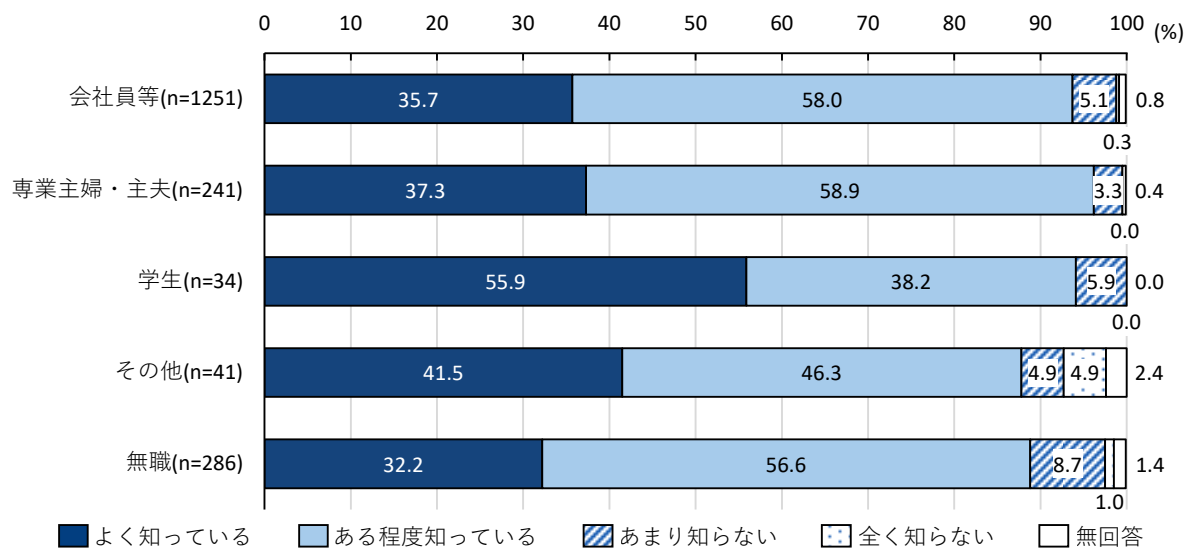


Ⅲ. 調査結果

【職業別】

職業別にみると、『知っている』の割合は、その他および無職では8割台、他3区分ではいずれも9割を占めている。

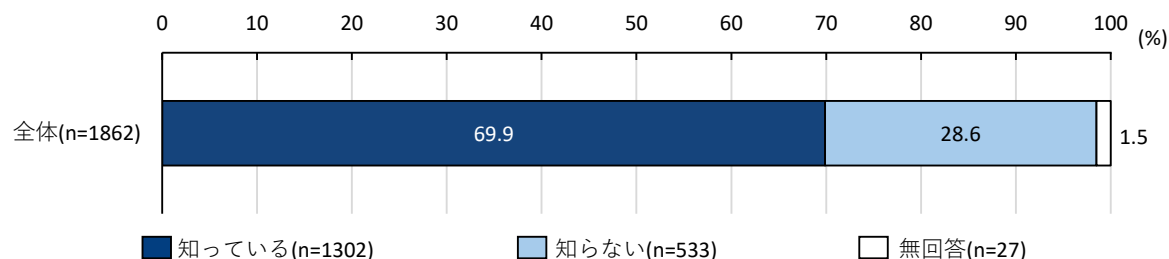
また、「よく知っている」の割合は、学生では5割台であり比較的高い一方、他4区分では3～4割台となっている。



1. 2 あなたは、食品ロスがSDGs※の目標になっていることを知っていますか。(1つだけに○)

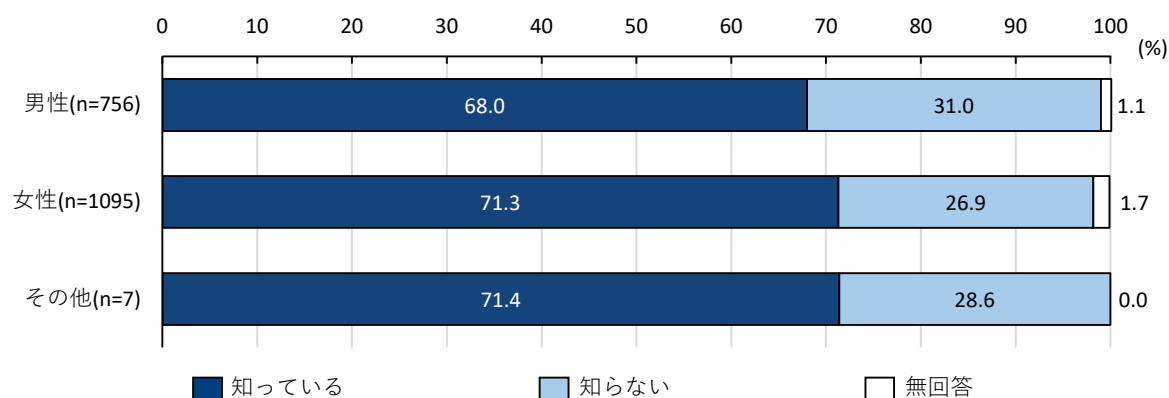
【全体】

「知っている」は69.9%、「知らない」は28.6%となっており、回答者の約7割が、食品ロスがSDGsの目標になっていることを認知している。



【性別】

性別にみると、「知っている」の割合は、男女ともに7割前後となっており、性別による大きな差はみられない。

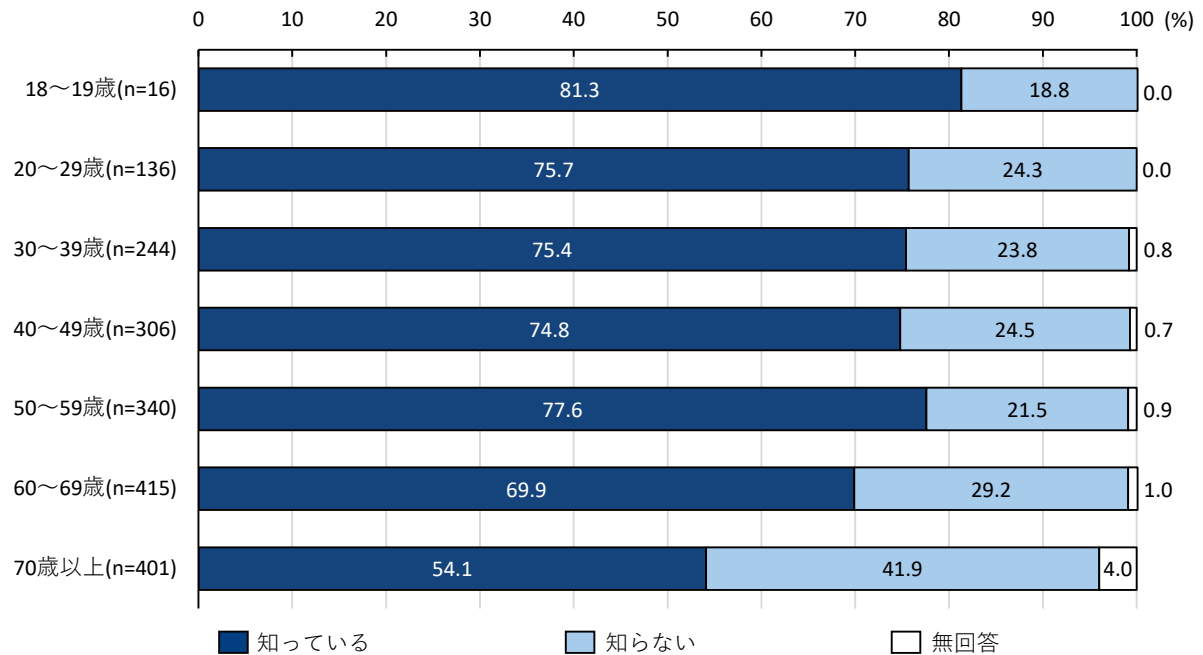


※SDGsとは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す17の国際目標です。

Ⅲ. 調査結果

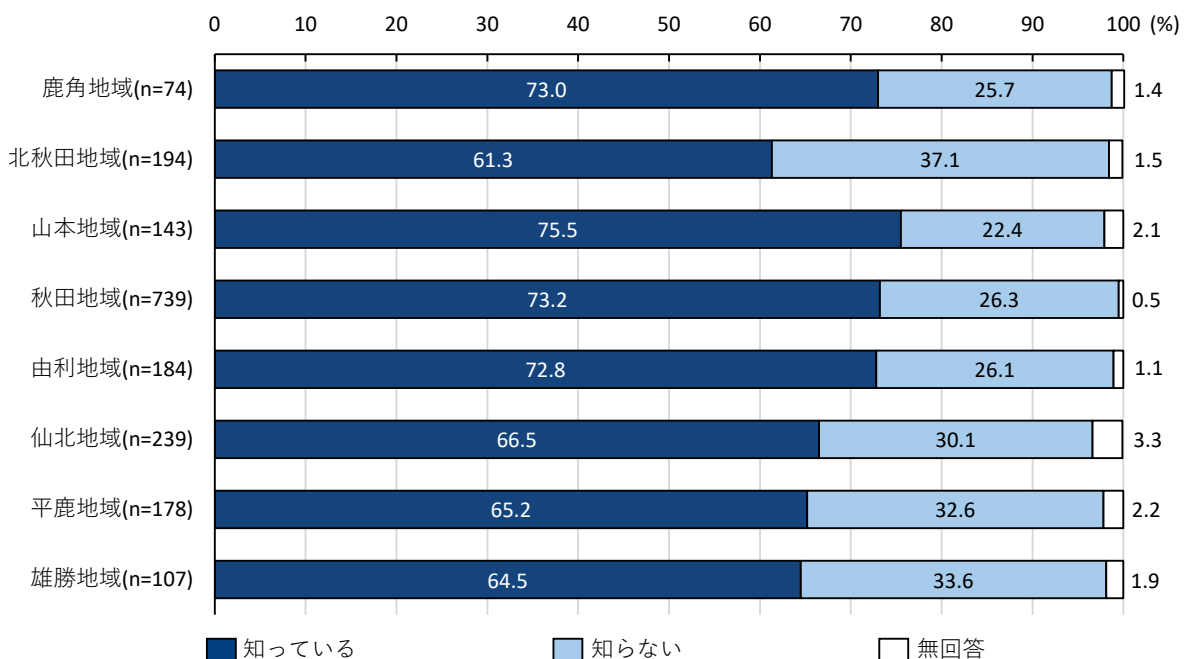
【年齢別】

年齢別にみると、いずれの年齢においても「知っている」の割合が「知らない」を上回っており、18～19歳が8割台で最も高く、20～59歳では7割台、60歳代では6割台、70歳以上では5割台となっており、年齢が低い層ほど割合が高い傾向にある。



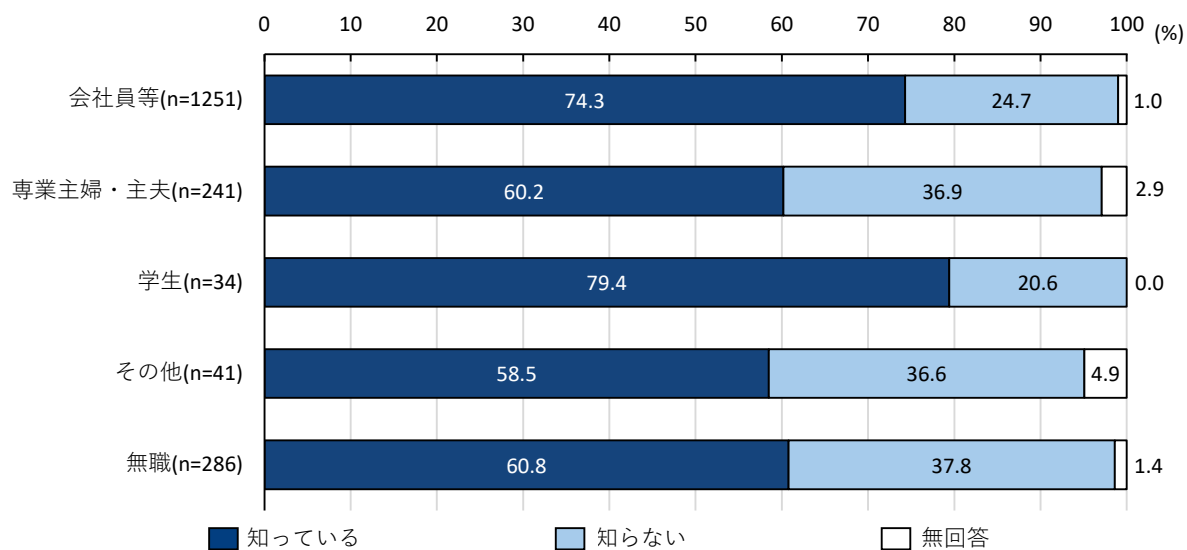
【地域別】

地域別にみると、いずれの地域においても「知っている」の割合が「知らない」を上回っており、鹿角地域、山本地域、秋田地域、由利地域の4地域では7割台、他4地域では6割台となっている。



【職業別】

職業別にみると、いずれの職業においても「知っている」の割合が「知らない」を上回っており、会社員等および学生では7割台、専業主婦・主夫および無職では6割台となっている。



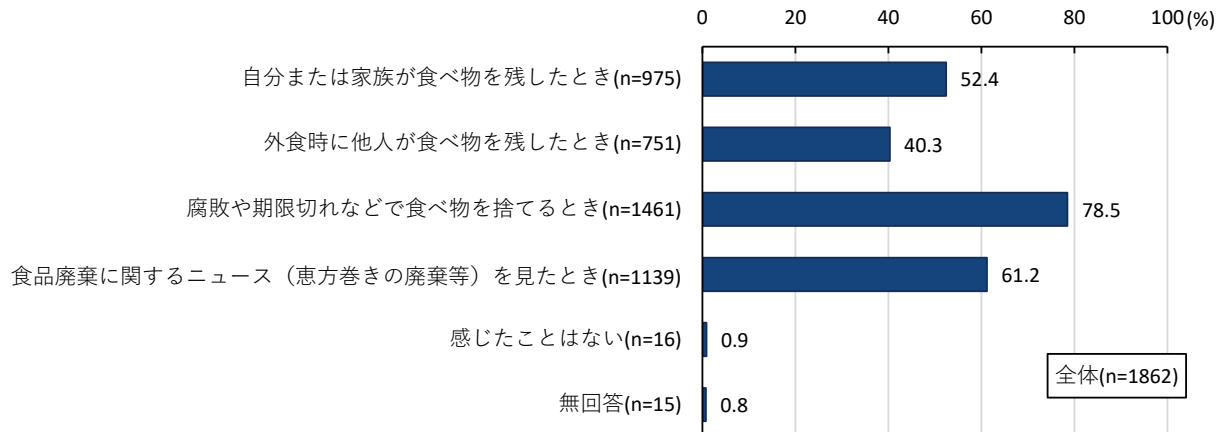
Ⅲ. 調査結果

1. 3 あなたは、食生活などで「もったいない」と感じるのはどんなときですか。(当てはまるものすべてに○)

【全体】

「腐敗や期限切れなどで食べ物を捨てるとき」の割合が78.5%で最も高く、次いで「食品廃棄に関するニュース（恵方巻きの廃棄等）を見たとき」（61.2%）、「自分または家族が食べ物を残したとき」（52.4%）、「外食時に他人が食べ物を残したとき」（40.3%）の順で続いている。

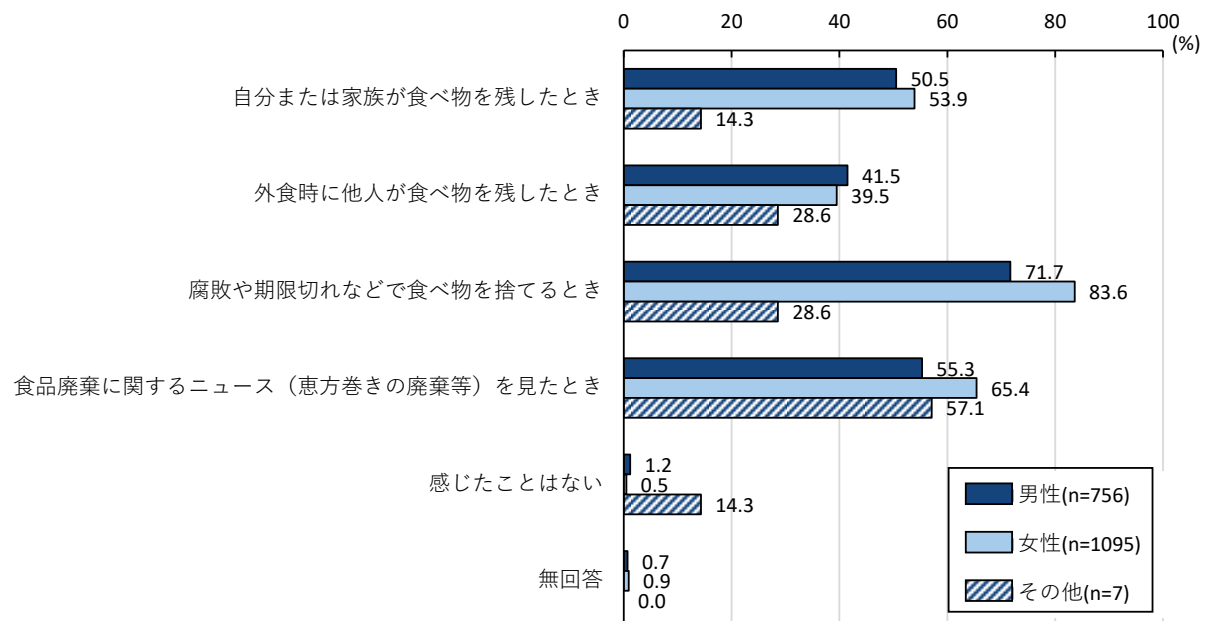
一方、「感じたことはない」は0.9%となっている。



【性別】

性別にみると、男女ともに「腐敗や期限切れなどで食べ物を捨てるとき」の割合（男性：71.7%、女性：83.6%）が最も高く、次いで「食品廃棄に関するニュース（恵方巻きの廃棄等）を見たとき」（男性：55.3%、女性：65.4%）、「自分または家族が食べ物を残したとき」（男性：50.5%、女性：53.9%）の順で続いている。

また、「腐敗や期限切れなどで食べ物を捨てるとき」（男性：71.7%、女性：83.6%）および「食品廃棄に関するニュース（恵方巻きの廃棄等）を見たとき」（男性：55.3%、女性：65.4%）では、いずれも女性が男性を10.0ポイント以上上回っている。

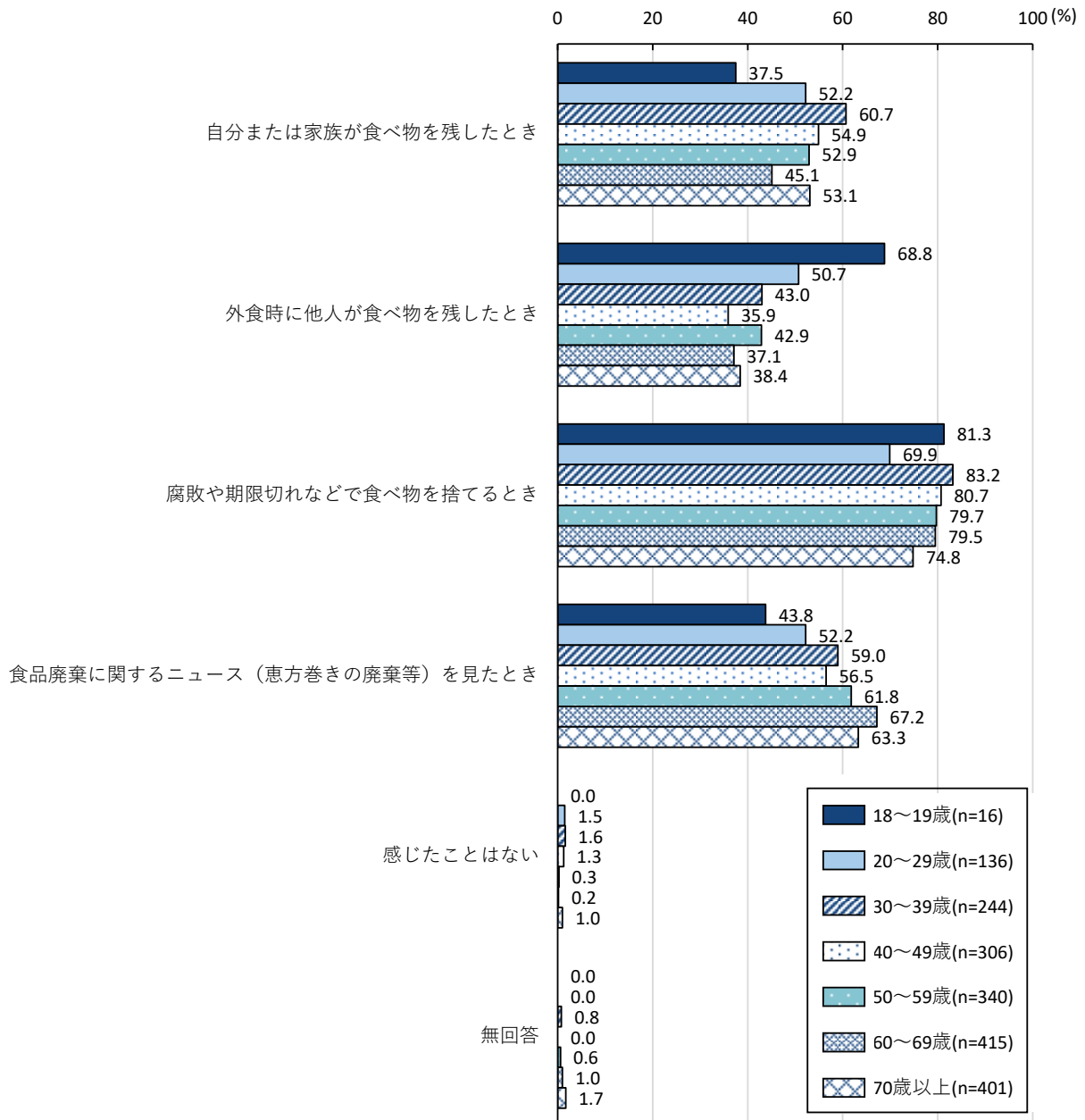


【年齢別】

年齢別にみると、いずれの年齢においても「腐敗や期限切れなどで食べ物を捨てる時」の割合が最も高く、

また、「外出時に他人が食べ物を残したとき」の割合は、18～19歳（68.8%）および20歳代（50.7%）において、全体の割合（40.3%）を10.0ポイント以上上回っており、若年層で高い傾向がみられる。

一方、「食品廃棄に関するニュース（恵方巻きの廃棄等）を見たとき」の割合は、18～19歳（43.8%）において全体の割合（61.2%）を10.0ポイント以上下回っており、20～49歳では5割台、50歳以上では6割台となっており、年齢が高い層ほど割合が高い傾向にある。



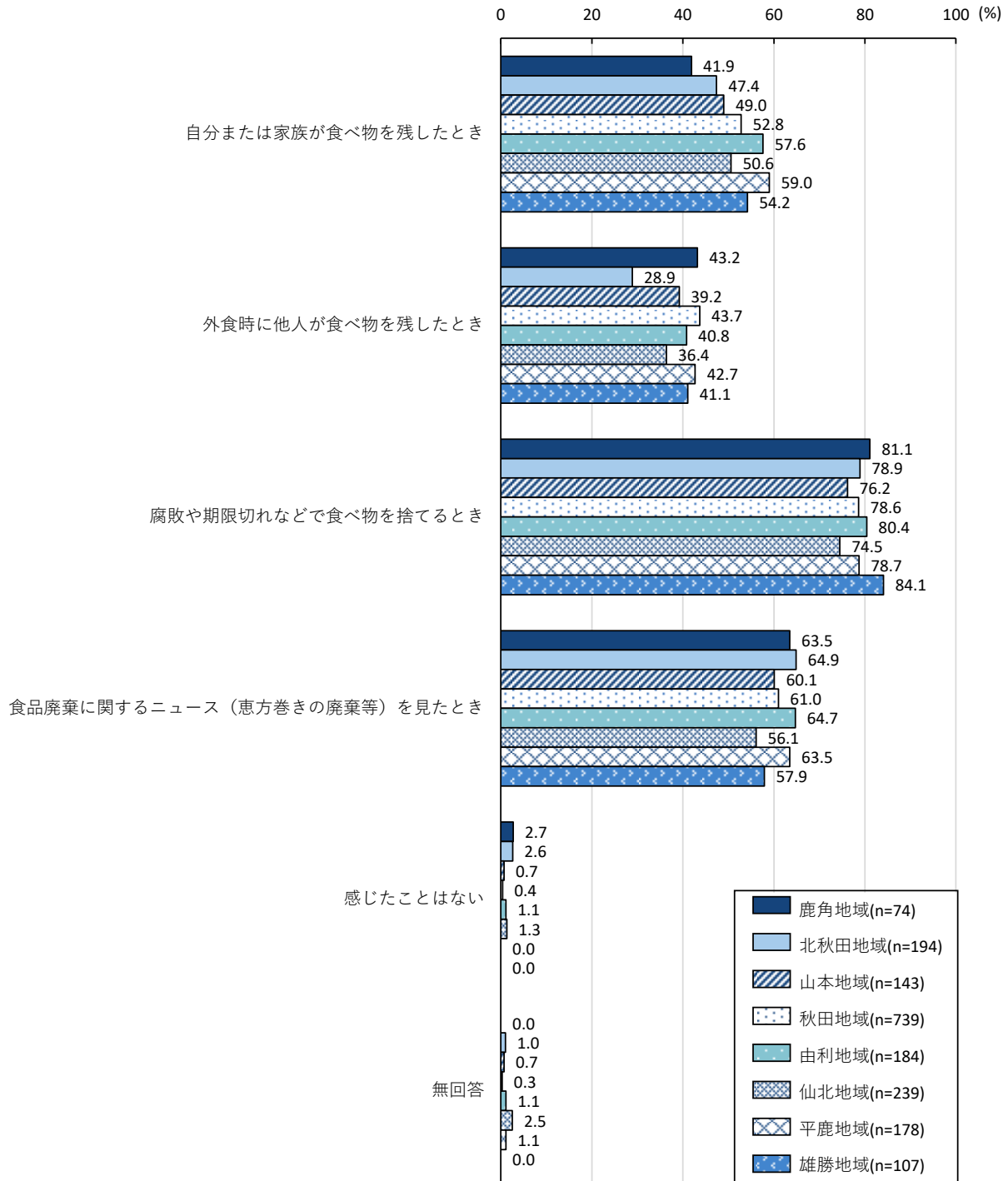
Ⅲ. 調査結果

【地域別】

地域別にみると、いずれの地域においても「腐敗や期限切れなどで食べ物を捨てる時」の割合が最も高くなっている。

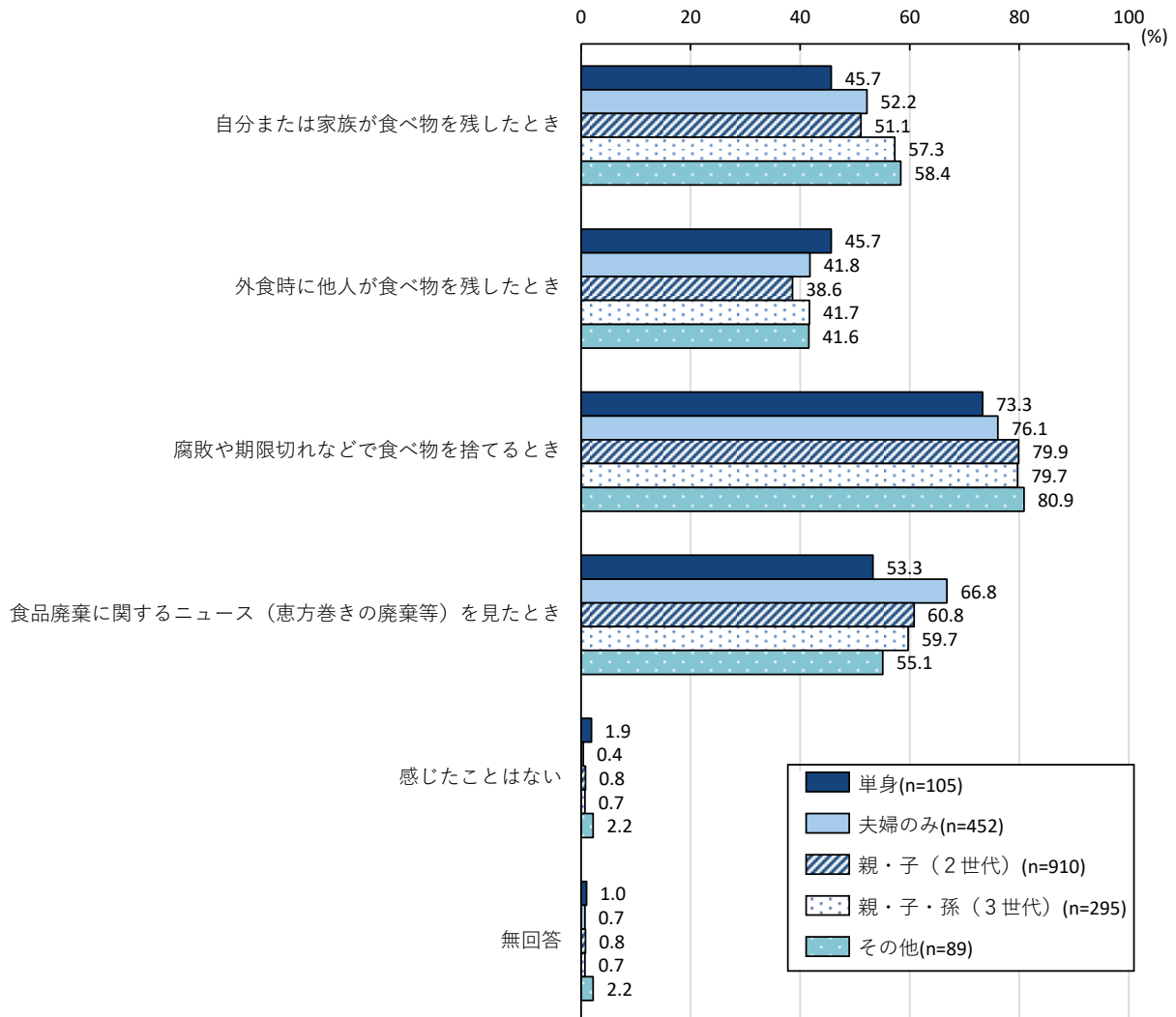
「自分または家族が食べ物を残したとき」の割合は、県北の3地域（鹿角地域、北秋田地域、山本地域）はいずれも4割台となっており、特に鹿角地域（41.9%）では全体の割合（52.4%）を10.0ポイント以上下回っている。一方、他5地域ではいずれも5割台となっている。

また、「外食時に他人が食べ物を残したとき」の割合は、北秋田地域（28.9%）が全体の割合（40.3%）を10.0ポイント以上下回っている。

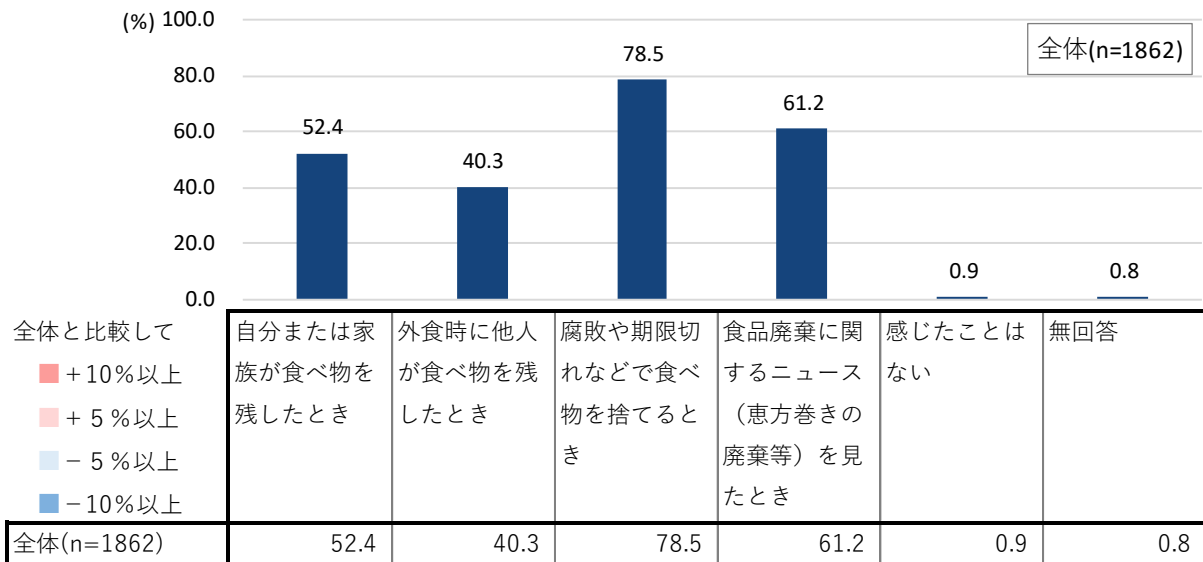


【家族構成別】

家族構成別にみると、いずれの区分においても「腐敗や期限切れなどで食べ物を捨てるとき」の割合が最も高くなっている。



Ⅲ. 調査結果



性別

男性(n=756)	50.5	41.5	71.7	55.3	1.2	0.7
女性(n=1095)	53.9	39.5	83.6	65.4	0.5	0.9
その他(n=7)	14.3	28.6	28.6	57.1	14.3	0.0

年齢別

18～19歳(n=16)	37.5	68.8	81.3	43.8	0.0	0.0
20～29歳(n=136)	52.2	50.7	69.9	52.2	1.5	0.0
30～39歳(n=244)	60.7	43.0	83.2	59.0	1.6	0.8
40～49歳(n=306)	54.9	35.9	80.7	56.5	1.3	0.0
50～59歳(n=340)	52.9	42.9	79.7	61.8	0.3	0.6
60～69歳(n=415)	45.1	37.1	79.5	67.2	0.2	1.0
70歳以上(n=401)	53.1	38.4	74.8	63.3	1.0	1.7

地域別

鹿角地域(n=74)	41.9	43.2	81.1	63.5	2.7	0.0
北秋田地域(n=194)	47.4	28.9	78.9	64.9	2.6	1.0
山本地域(n=143)	49.0	39.2	76.2	60.1	0.7	0.7
秋田地域(n=739)	52.8	43.7	78.6	61.0	0.4	0.3
由利地域(n=184)	57.6	40.8	80.4	64.7	1.1	1.1
仙北地域(n=239)	50.6	36.4	74.5	56.1	1.3	2.5
平鹿地域(n=178)	59.0	42.7	78.7	63.5	0.0	1.1
雄勝地域(n=107)	54.2	41.1	84.1	57.9	0.0	0.0

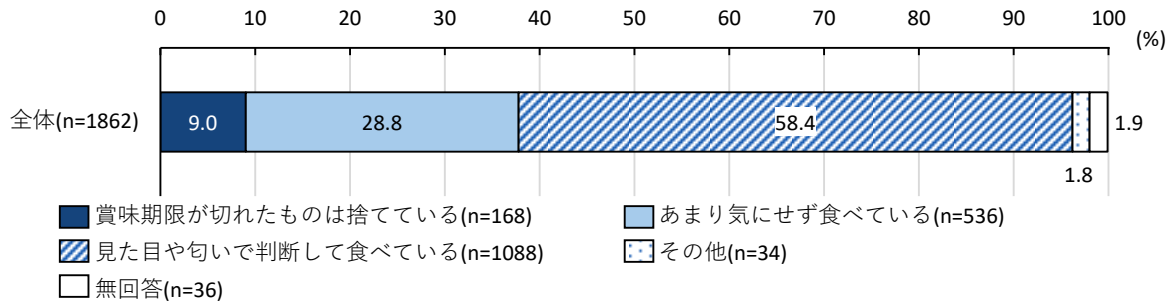
家族構成別

単身(n=105)	45.7	45.7	73.3	53.3	1.9	1.0
夫婦のみ(n=452)	52.2	41.8	76.1	66.8	0.4	0.7
親・子(2世代)(n=910)	51.1	38.6	79.9	60.8	0.8	0.8
親・子・孫(3世代)(n=295)	57.3	41.7	79.7	59.7	0.7	0.7
その他(n=89)	58.4	41.6	80.9	55.1	2.2	2.2

1. 4 あなたは、賞味期限*を過ぎた食品をどのようにしていますか。(1つだけに○)

【全体】

「見た目や匂いで判断して食べている」の割合が58.4%で最も高く、次いで「あまり気にせず食べている」(28.8%)、「賞味期限が切れたものは捨てている」(9.0%)の順で続いている。

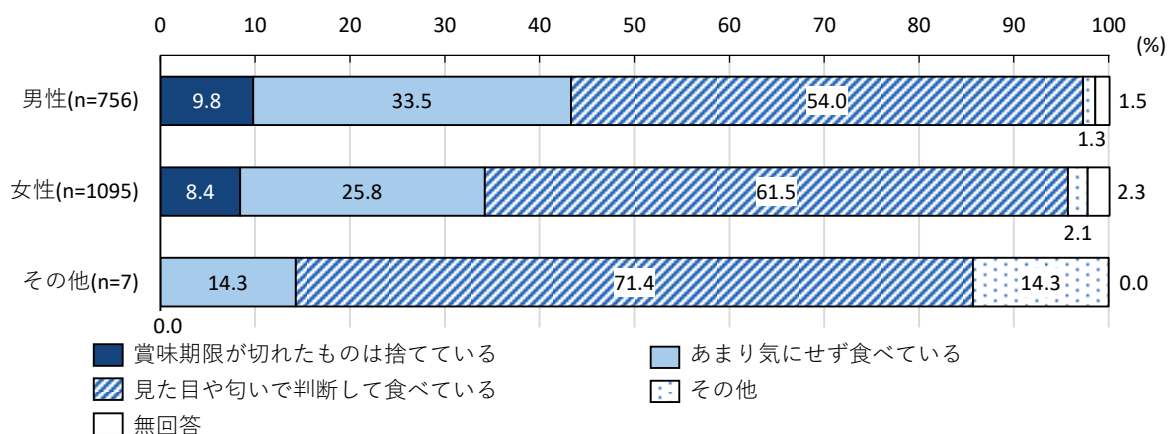


その他内容 (一部)

- 期限切れでも、数日経過であれば食べている (女性/70歳以上)
- 冷凍食品は食べます (男性/60~69歳)
- 賞味期限は参考程度にはしているが、臨機応変で (女性/70歳以上)
- 食品の種類によって判断 (男性/70歳以上)

【性別】

性別にみると、男女ともに「見た目や匂いで判断して食べている」の割合 (男性54.0%、女性:61.5%)が最も高く、次いで「あまり気にせず食べている」(男性:33.5%、女性25.8%)、「賞味期限が切れたものは捨てている」(男性:9.8%、女性8.4%)の順で続いており、性別による大きな差はみられない。



*賞味期限：おいしく食べることができる期限

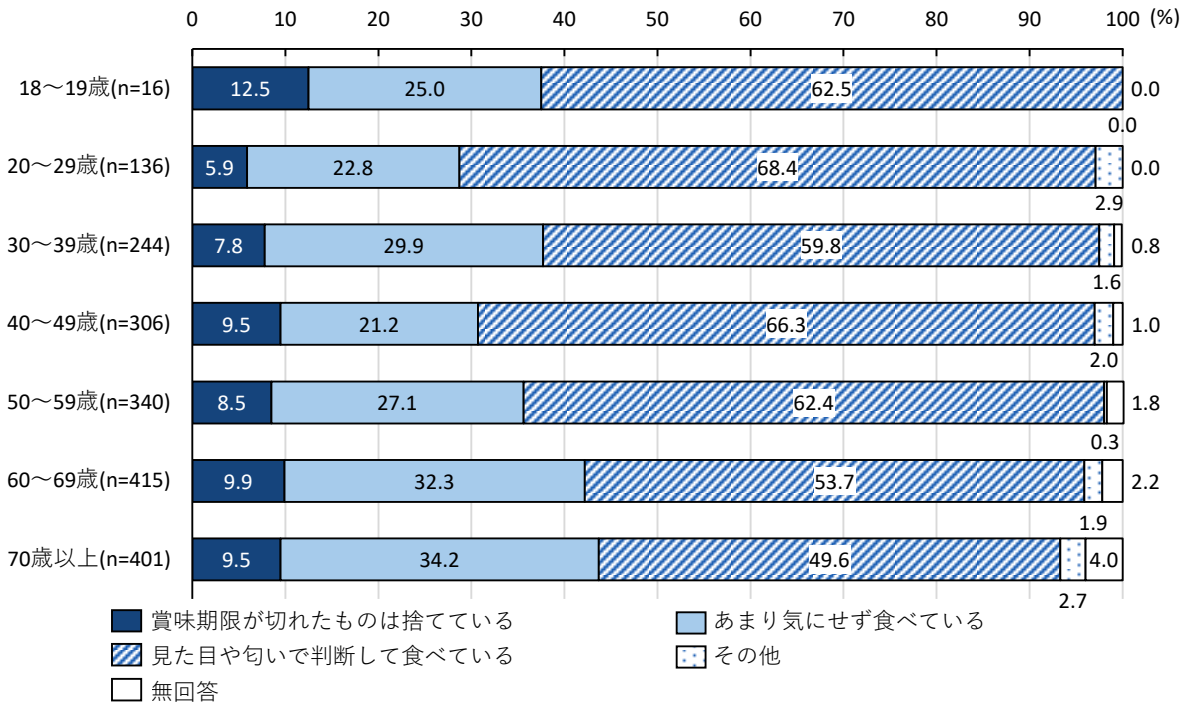
消費期限：過ぎたら食べない方がよい期限

Ⅲ. 調査結果

【年齢別】

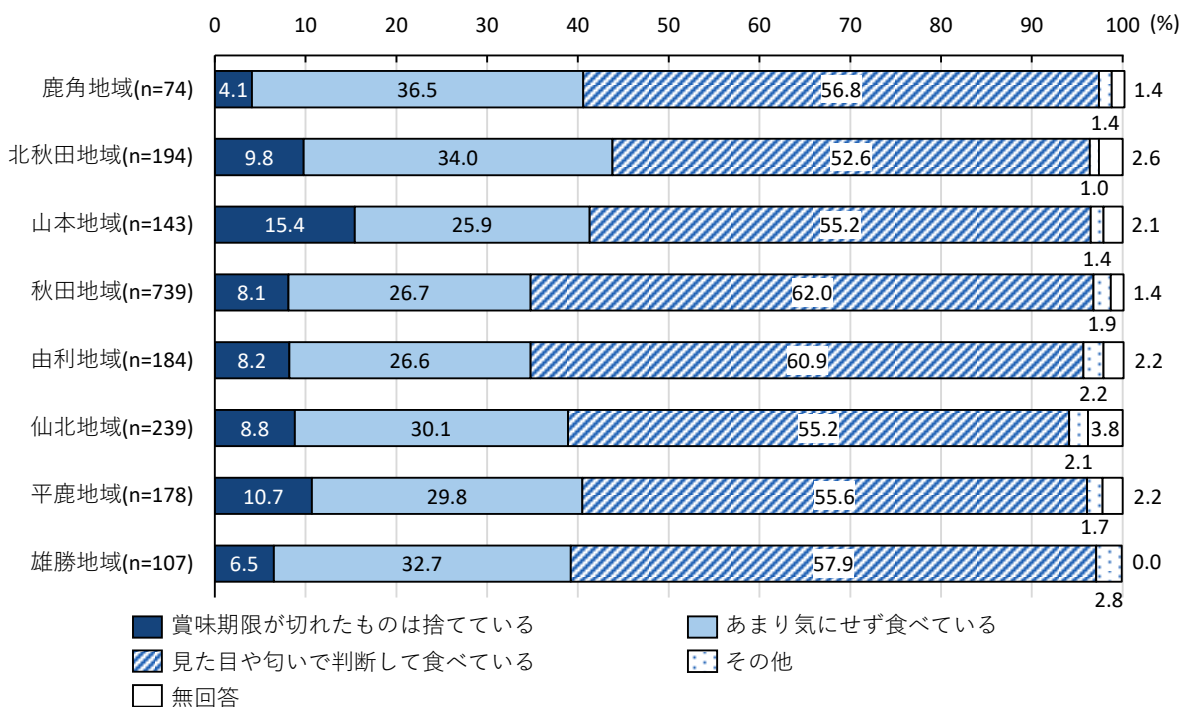
年齢別にみると、いずれの年齢においても「見た目や匂いで判断して食べている」の割合が最も高く、70歳以上では4割台、30歳代および60歳代では5割台、18～29歳および40～59歳では6割台になっている。

また、「見た目や匂いで判断して食べている」の割合は、20歳代(68.4%)が全体の割合(58.4%)を10.0ポイント以上上回っている。



【地域別】

地域別にみると、いずれの地域においても「見た目や匂いで判断して食べている」の割合が5～6割台で最も高くなっている。



【家族構成別】

家族構成別にみると、いずれの区分においても「見た目や匂いで判断して食べている」の割合が最も高く、単身では4割台、夫婦のみおよび親・子（2世代）では5割台、他2区分ではいずれも6割台となっている。

また、「見た目や匂いで判断して食べている」の割合は、単身（47.6%）が全体の割合（58.4%）を10.0ポイント以上下回っている。

